

## 前回部会（2月9日）における指摘事項及びその対応

番号	指 摘 事 項	事 業 者 の 対 応
1	人と自然との触れ合いの活動の場について、具体的な調査方法を示されたい。	<p>人と自然との触れ合いの活動の場に係る調査については、以下のとおりです。</p> <p>方法書 p70 図 3.2.20 に掲載の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文献その他の資料調査</li> <li>特に影響を受けるおそれがある施設【ふれあいの森】</li> <li>・ 利用人数調査：四季各季 2 日間（平日・休日）</li> <li>・ 写真撮影・利用状況調査：四季各季 2 日間（平日・休日）</li> <li>影響を受けるおそれがある施設【兒の森、四季の森】</li> <li>・ 主な利用団体等への聞き取り調査</li> <li>・ 写真撮影・利用状況調査：四季各季 2 日間（平日・休日）</li> </ul>
2	上層気象調査について、ダウンドラフトの検証のため、周辺の山の高さくらいまでは密な間隔で測定した方がよいのではないか。	<p>事業実施区域北側の山地からの吹き下ろしの風については、短期的変化をより精度よく捉えるため、秋季・冬季において、レーウィンゾンデ（観測幅 50m 程度）に加え、係留気球等（観測幅 20m 程度）により地上高約 300m 付近まで観測を行います。</p>
3	環境センター南東の老人ホーム等施設周辺において、道路交通騒音の現地調査を行った方がよいのではないか。	<p>道路交通騒音の調査地点については、環境影響を受けるおそれがある地域として、環境センター西側における廃棄物運搬車両及び工事用車両の主要運行ルート上の 3 地点としております。老人ホーム等施設の北側の道路（環境センターまでの区間）については、廃棄物運搬車両は 3 台 / 日程度であり、工事用車両は走行を避けるように指導を徹底するため、事業に伴う発生車両台数が極めて少ないと考えられることから、道路交通騒音の調査地点は設けておりません。今後、工事計画の作成及び工事の実施に際しては、これらの施設に十分配慮してまいります。</p>